

# 令和7年産 品質・食味の良い「コシヒカリ乾田V溝直播」の栽培基準(射水市内)

● 射水市農業技術者協議会 ● 射水市  
● JAIみず野 ● 富山県高岡農林振興センター  
● 高岡地域農業共済センター ● 全農とやま

## 導入条件

- 乾田V溝直播栽培は、クローラトラクタ、専用播種機および乗用管理機が必要であること、圃場条件に左右されることなどから、条件を十分検討して、導入することが望ましい。
- 直播栽培する圃場は、漏生粒による異品種の混入を防ぐため、前年と同品種または転作あと田とする
  - 減水深の小さい圃場(畦塗り等で対応可能)
  - 周囲の移植田等からの浸水のない圃場(団地化が望ましい)
  - 湛水直播栽培では、カラス、カモ等の鳥害を受けやすい地域や倒伏が懸念される地域

## 圃場準備 (前年秋 10~11月)

### 代播き整地法



## 播種時の 土壌の硬さ

土壌の硬さの目安

- 足跡がつく程度
- △ 1~2cm程度しずむ
- × くるぶしまでもぐる

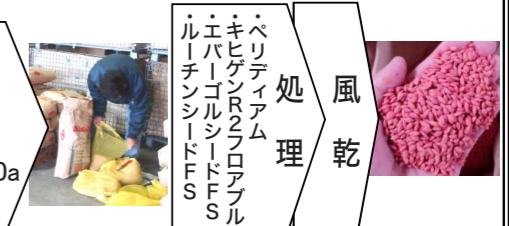
## 播種を延期



## 種子の準備

種子量

乾粒 6~7kg/10a



### 540kg/10a穫り収量構成の目安

収量構成	目安
目標㎡当たり苗立ち数	150~200
㎡当たり最高莖数	500
㎡当たり穂数	340
平均一穂粒数	80
㎡当たり着粒数(百粒)	270
登熟歩合	85
玄米千粒重	23.5

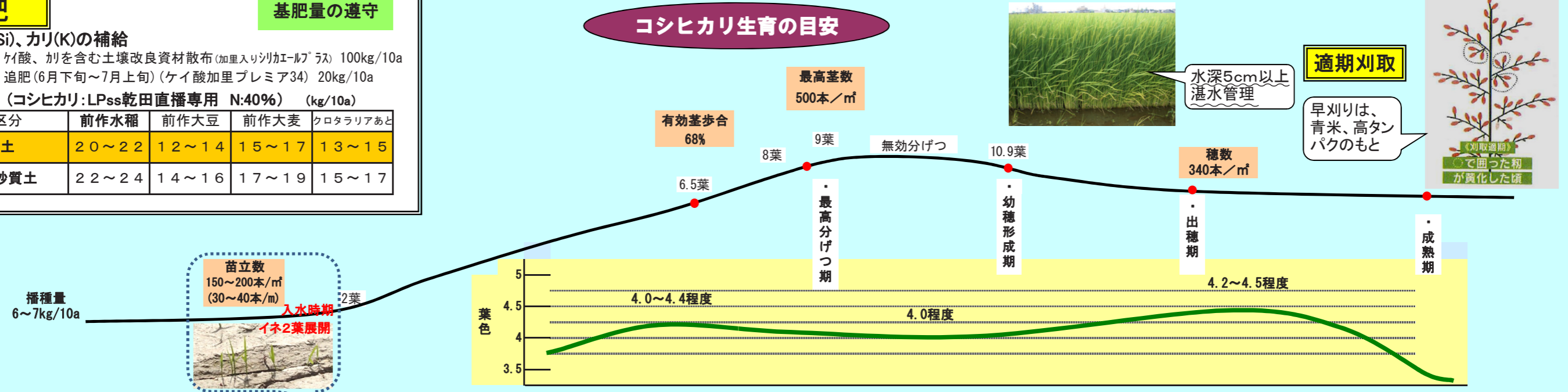
## 施肥

### 基肥量の遵守

- ケイ酸(Si)、カリ(K)の補給
  - (耕起前) ケイ酸、カを含む土壌改良資材散布(加里シリカエール®) 100kg/10a
  - (生育期) 追肥(6月下旬~7月上旬)(ケイ酸加里プレミアム34) 20kg/10a
- 基肥量(コシヒカリ:LPss乾田直播専用 N:40%) (kg/10a)

土壌区分	前作水稲	前作大豆	前作大麦	クロタリアあと
粘質土	20~22	12~14	15~17	13~15
壤質・砂質土	22~24	14~16	17~19	15~17

## コシヒカリ生育の目安



月日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育区分	4/18 播種期	5/15 ~ 5/20 出芽・苗立期	6/11 有効分げつ期	6/28 無効分げつ期	7/17 穂ばらみ期	8/6 登熟期	9/17 成熟期
水管理	播種後圃場が乾いた場合は通水する 出芽の促進 稲体の活力維持・水持ちアップ	イネ2葉が展開中で30~40本/mの苗立ちを確認したら速やかに入水	常時水深5cm以上の湛水状態を保つため、こまめに入水する ※高温の場合は 2~3日で水を入れ替える	(落水を急がないように)			
栽培管理のポイント	<雑草防除①> ラウンドアップマックスロード イネ:出芽前 (播種後10日頃) (10a当たり) 薬量 500ml 希釈水量 50L	<雑草防除②> クインチャーハスME液剤 イネ:1.5葉期頃 (播種後25日頃) (10a当たり) 薬量 1,000ml 希釈水量 100L	<雑草防除③> デオール顆粒 →ノビエ3葉期まで アクシズMX1キロ粒剤 →ノビエ4葉期まで 2週間 7~10日後 20日後	<雑草防除④草が残ったら...> 休む 草種 ヒエ 広葉 ヒエ・広葉 クサ多分 除草剤 トドメMF乳剤 (サグランMF液剤) トドメバスMF液剤 ロイヤント乳剤	<基本防除①> ビームエイトスタークルゾル 散布時期:出穂直前 <基本防除②> ラブサイドK2フロアブル 散布時期:穂揃期	<次年度予定圃場の準備> ・土壌改良資材の散布 ・リン・カリ肥料の施用 ・耕起 ・代かき ・溝切り	